

創刊の辞

本学大学院の人文科学研究科に哲学、国文学各専攻の修士課程が設置されたのは一九五三年のことだから、以来すでに半世紀を経ている。その後一九五七年からイギリス文学、ドイツ文学、フランス文学の各専攻が増え、一九六五年には史学専攻も加わって、専攻すべてに修士・博士課程が備わるに至った。後発の心理学専攻に博士課程まで設置されたのは一九七二年のことである。

その間、名称は博士前期課程・後期課程と変わったが、各課程の修了者ないし単位取得者の数は着々と増加し、学界、教育界をはじめとする社会の各界で顕著な活躍をしている。これはひとえに本研究科に在籍した院生諸君の優れた資質とたゆまぬ研鑽の成果であり、さらには彼らを指導された本学各専攻教員の熱意の賜物である。

ここに本研究科委員会は、大学院生諸君の充実した研究成果を少しでも多く世に知らしめるため、『人文科学論集』の発刊を企画した。第一回の試みであるにもかかわらず、多数の諸君からの投稿を得たことを喜びたい。これを契機に今後ますます大学院生諸君の研究意欲が昂まることを期待する。

一九九二年九月

学習院大学大学院人文科学研究科委員長

小倉 芳彦